

## 巻頭言

*St. Paul's Librarian* 31号をお届けいたします。2016年度は、本学司書課程の国際交流の記念すべき一年となりましたが、みなさまに今号でその様子をお伝えできることと思います。来日された外国人研究者の公開講演会を2度、実施したこと、はじめての国外図書館実習を香港で実施したことは大きなできごとでした。また、図書館実習生を香港に派遣したことに関わり、昨年度以上に、同地のライブラリアンや図書館情報学者と交流することができました。さらに、被災地の図書館との交流を継続、今年度ははじめて、本学司書課程兼任講師の柳瀬寛夫先生のご紹介で気仙沼市立図書館へ赴む機会を得ることもできました。この場に、香港とスペインからの客人にもご一緒いただいたことは、参加者のみなにとって思い出深いものになりました。

図書館実習報告、就職活動体験記も内容の濃い原稿が寄せられました。本学司書課程の学生、教職員のみならず、多くの人への問いかけが含まれています。図書館実習事前指導Ⅰには、ゲストスピーカーとして卒業生で地方自治体の司書として働く坪根史織さんにいらしていただくことができました。今年は参加した学生のほとんどが3年生で、すでに就職活動がはじまりかけていた時期であったため、もう少し早く坪根さんのお話を聞いてもらいたかったと終了後に思いました。記録を今号に掲載することで、広く後輩たちに読まれ、参考にもらえるように念じています。このほか、前年度からの継続で、5月、7月、9月、11月には、司書課程主任が学内外に呼びかけて、連続公開シンポジウム「司書教諭資格付与科目の教育実践を共有する」を開催しました。その記録や参加した方たちからの報告等は関係者のみなさまのご協力により原稿は整っており、本誌の別冊として後日発行したいと考えています。

今年度は、研究資金として、学校・社会教育講座の予算や学内の研究助成金（立教大学学術推進特別重点資金（立教SFR））を受けることができ、研究活動の報告も国際色豊かで充実しています。みなさまのご理解とご協力に心より御礼、申し上げます。来年度号へのご寄稿もお待ちしております。

なお、本誌は、著者から許諾を得られたものについては、立教大学学術リポジトリ立教Roots (<https://rikkyo.repo.nii.ac.jp/>) にて公開しています。インターネット上では写真はカラーで見られますので、ぜひ立教Rootsもご利用ください。また、今号からは印刷がすべてデジタルとなり、鮮やかになりました。表紙の写真は学内の聖なる空間で撮影されたものです。きれいな印刷で仕上がり、とても嬉しく思っています。

中村 百合子  
(立教大学司書課程主任)